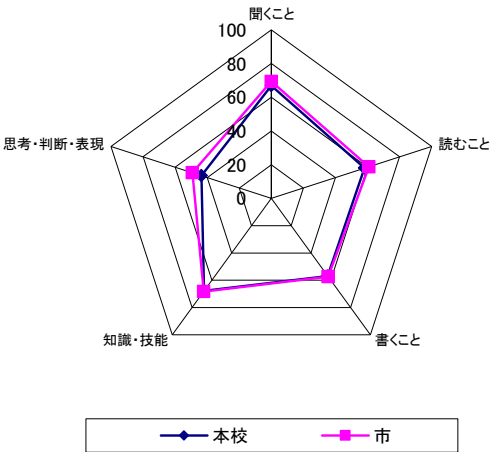


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	66.9	69.4	63.8
	読むこと	58.1	60.8	55.6
	書くこと	56.9	57.5	47.8
観点別	知識・技能	67.8	68.3	64.1
	思考・判断・表現	43.6	49.2	37.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○英文を聞いてそれに合う絵を選ぶ問題は、市の平均とほぼ同じ正答率である。 ○日常的な話題についての英文を聞き、概要を捉える問題は、市の正答率より1.3ポイント高い。 ●対話の内容を聞き、その意味を理解して答える問題は、市の正答率より8.8ポイント低い。 ●対話の内容を聞き、資料をもとに答える問題は、市の正答率より8.8ポイント低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・授業中のインタラクションの中に、グラフや図などの資料を用いたやりとりを取り入れることによって、資料をもとに必要な情報を読み取って英語で答えられるようにする。 ・帯活動の中で、スモールトークやALTとの1対1の会話を増やし、正しい発音や聞き取る速さを高められるようにする。 ・英語での対話の内容を聞き取ることができるように、教科書本文を見ずに、音声だけを聞いて内容を理解する活動を取り入れる。
読むこと	○対話文を読み、基本的な語形・語法を答える問題では、市の正答率より1.3ポイント(be動詞の過去形)、3.2ポイント(受け身)高い。 ●さまざまな英文及び長文を読み取る問題では、全ての項目で市の正答率を下回っている。対話の流れとポスターから必要な情報を把握して適切な語(句)を選ぶ問題は、市の正答率より8.3ポイント低い。 ●メールを読み、その内容をふまえて英文を完成させる問題は、市の正答率より10.9ポイント低い。	・基本的な文法事項の正答率は、市と大きく乖離していないため、身についていると言える。単語テストや文で答える形式のテスト等の実施により、語彙、語形、語法の知識定着を目指しながら、様々な英文の読み取る活動を取り入れることにより、早く正確に内容を読み取る力をつけたい。 ・読み取る中で、登場人物それぞれの発言の意図や接続詞の位置を読み取る活動も取り入れることで、適切な対話の流れを考えられるようにする。
書くこと	○単語の並び替えによる英作文では、市の正答率より8.4ポイント高い。 ●場面に応じて書く英作文では、市の正答率より10.2ポイント低い。 ●「部活動」というテーマに対して、まとめた内容の英文を書く問題では、市の正答率より5.7ポイント低い。	・対話の流れに合った英文を書く問題の正答率が低いことから、既習事項(1、2年生の内容)の正しい使い方や語順を復習する時間を確保し、確認できるようにする。 ・接続詞の使い方を見直し、文のまとまりを意識させて書けるように指導する。 ・書きたい内容を簡単な表現に書き換える練習と場面に応じた英作文を書く練習を、反復して行っていく。